

ギャラリー 仲摩通信

二〇二五年五、六月合併号

新緑が眩しい季節になりました。春の訪れを感じるこの頃、いかがお過ごしでしょうか。



四月半ば晴天の一日を横浜で過ごしました。美術評論家、

武田厚先生が四月七日にご逝去されました。多田美波研究所の皆さんと武田先生縁の地を訪ねました。



神奈川近代文学館

神奈川近代文学館の「大岡信展」をスタートに中華街、横浜美術館を巡りました。大岡信先生、武田厚先生は、多田美波作品の論評を通して多田先生と親交が有りでした。「大岡信展」で文学の世界を堪能した後は、中華街へ。武田先生お気に入りの「彩香」で昼食を摂りながら想い出話に花が咲きました。武田先生が副館長をされていた横浜美術館を訪ね横浜の旅を終えました。今号では迎賓館を始め、いくつかの展覧会をお知らせ致します。

■横浜美術館アートギャラリー今昔

◆「コンテンポラリーグラス チェコスロバキア 六人の巨匠」展

一九九一年十月、十一月にアートギャラリーにてチェコスロバキアを代表する六人の作家の展覧会。(写真右下)



出品作家／S・リベンスキー&J・ブリフトヴァー、M・カレル、D・ザメチニコヴァー、V・コペツキー、V・ツイグレル(敬称略)リベンスキー夫妻とキュレーターのS・ペトロヴァー氏による講演会「ガラスと建築」開催。企画／ギャラリー仲摩

◆「コレクション展」

今年二月、

リニューアルオープンした横浜美術館に美しいギャラリーが誕生しました。フリースペースGallery 9はどんなでも入りや



ギャラリー9 展示風景

(コレクション展「ガラスとひかり」)

すいようにとの配慮から入場無料です。四方全面ガラスに囲まれたギャラリーは自然光で作品を鑑賞出来ます。十一月三日迄「コンテンポラリーグラス」展に出品されたリベンスキー夫妻の作品も展示しています。

■迎賓館の展覧会

「日本の伝統工芸・継承と創造」展
開催のお知らせ

本企画は、日本の伝統工芸に従事する国宝級の匠をはじめ、現在の多様化する国内外の工芸・美術の分野の職人・作家たち、またこれに関連した各国大使館広報・文化事業担



迎賓館

当者などとの国際交流を促進し、今後の日本作家の海外での文化活動の更なる進化・拡大、国内における海外作家の活動との協働促進に資することを目的とするものです。

特に本企画の特徴として、国内お

迎賓館 彩鸞の間



よび海外の美術工芸文化の融合結晶である「迎賓館」という象徴的な場での開催には大きな意義があります。迎賓館は国賓などをお迎えする重要な外交の場でもあります。同時に、日本の伝統的な、あるいは海外から移入し吸収した美術・工芸技術の粋を尽くした建築と装飾の極みであり、それ自体が日本文化の水準の高さを示す貴重な文化資産でもあります。そのような迎賓館という場において、はじめて民間主催で日本の伝統工芸をはじめとした美術・工芸の作品展を開催し、合わせて国内外作家や業界関係者と各国大使館広報・文化事業担当者の懇談の場を設けることにより、文化に関わる国際的な情報発信と対日理解の一層の増進を図るという本展の趣旨は、世界的にも国際関係の緊張が高まり、より各国の相互理解と協調が求められる現代において極めて重要な意義をもつものと考えております。

周知のように、日本の伝統工芸は、その精細さと精緻な技術に裏打ちされた高度な表現が特徴のひとつですが、特に一つ一つの分野での展示ではなく、多様な分野にわたる包括的な展示形態をとることで、個々の工芸技術を超えた日本文化総体としての特質や文化的風土を感じることができ、このような多分野に渡る展覧会を、日本の美術・工芸文化の象徴的な場である迎賓館内で実施することは、海外の方々にとりわけ大きなインパクトを持って迎えられることと確信いたします。

日本文化の創造性と革新性を世界に発信し、理解を深めていただくことで、日本の国際的なポジションの獲得にも資していくことは、本展関係者一同、文化に携わるものに課せられた重要なミッションとして捉えております。本企画が、日本文化のより一層の推進と国内外関係者の相互交流を強める貴重な機会となりますことを切に願っております。

「日本の伝統工芸・継承と創造」展
実行委員会代表

株式会社 New York Art 代表取締役
中村 信子

■美術館情報

◆横浜美術館

リニールアルオープン記念展

「おかえり、ヨコハマ」

会期：開催中～六月二日

美術館のコレクションを中心に「横浜」を振り返る展覧会



「おかえり、ヨコハマ」
展示風景（ルネ・マグリット
《王様の美術館》）

撮影：加藤 健

<https://yokohama-art-museum.jp>

◆富山市ガラス美術館

コレクション展 ガラス×えがく

会期：六月七日～十一月三十日

富山ガラス工房開設三十周年記念展

「Gathering (ギャザリング)」

つなぐ創造力」

会期：開催中～六月二十二日

<https://toyama-glass-art-museum.jp>

◆石川県能登島ガラス美術館

月替わりワークショップを開催

五月…モザイク・ガラス

開催日／十、十七、二十四、三十一日

六月…ガラス彫刻

開催日／七、十四、二十一、二十八日

申し込み：TEL：0767-84-1175

<https://nanao-art.jp/glass/>

◆黄金崎クリスタルパークガラス

ミュージアム

「ガラスの表現・多彩な
表面」展

会期：開催中～六月十八日



<https://koyo-nishizu.jp/crystal/museum/>

■訃報

●美術評論家、武田厚先生が四月七日にご逝去されました（享年八十四歳）。武田先生は北海道立近代美術館学芸部長として「世界現代ガラス展」を立ち上げられ、横浜美術館の学芸部長として「拡張するガラス」展を開催されました。数々のガラス展の審査員を務め、多くのガラスアート関連の著書を執筆され、副館長として横浜美術館を退任されました。教育者として多摩美術大学を始め数々の大学等で教鞭を執られ、現代ガラスの普及に貢献されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

●ガラス造形作家、林亘先生が昨年十月七日にご逝去されました。

去る四月十一、十二、十三日の三日間、ご子息の幹さん主催で「林亘あつまろう会」が開催されました。

会場には林先生と交流のあった多くの方が集い、作品や写真などを拝見して林先生のご活躍を偲びました。

林先生は、カガミクリスタル株式会社勤務後、東京藝術大学美術学部ガラス造形研究室を立ち上げられ、後進の育成に尽力されました。退任後はご自身の工房で創作活動をされていました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

【編集後記】

本誌で訃報のお知らせが増えました。寂しい事です。世代交代の時期がやってきたのでしょうか。AIで作品が出来てしまう今日、今後アートがどうなっていくのか憂いているのは私だけでしょうか。（仲摩）

《編集・発行》

〒226-0015 横浜市緑区三保町二〇六〇

ギャラリー 仲摩 仲摩マサ枝

nakama@nakama.co.jp

TEL:090-1053-6642 FAX:045-507-3080

<http://www.nakamo.jp>